

上智大学中世思想研究所企画
西洋中世キリスト教における「愛」の思想

上智大学中世思想研究所では、一般の方にキリスト教中世の思想をご案内することを目的に、中世哲学会所属の研究者の協力を得て、上智大学公開学習センター講座に輪講講座を開設しております。本年度春期は、キリスト教古代から中世の「愛」の観念史を辿ることといたしました。

ソクラテス―プラトンに根差す「超越的な善美なるもの」への「憧憬」（エロス）としての愛（愛智＝フィロソフィア〈哲学〉の）の概念は、キリスト教思想では「神への愛」として捉えられ、この「神への愛」は「神からの無償の愛」（アガペ）があってからこそ生起する、とされます。またアリストテレス的な「友愛」（フィリア）は、キリスト教思想では、神との愛の関係の世界内での実現として、「隣人愛」（フィリア）として捉え直されます。神からの愛・神への愛も、隣人愛も、ラテン語では「カリタス」（caritas）であり、これは「チャリティー」（charity）の語源です。

人間の「神への愛」は、一なる神への自己回復的な登攀ですが、この登攀において人間は神を、「美そのもの」として認識しています。私たちの日常的な経験にあっても、愛の対象は「美しきもの」です。当研究所は、2011年度秋学期に中世における「美」の概念史を辿り、好評を得ました。今回は、この「美」の概念をも視座に入れつつ、中世キリスト教思想における「愛」の諸相を、神学的・形而上学的・倫理的・芸術学的・神秘主義的視点のもとに捉え、西洋中世思想の中でも特異な光彩を放つ「美」の言説とともにある「愛」の言説・思想を学んでいきます。

講義時間帯・講師紹介、他：

講座名：西洋中世キリスト教における「愛」の思想（講座番号 0123）

曜日・時間帯：月曜日 18:45-20:15、回数：9回、定員：40名、受講料：22,500円

講師：樋笠勝士（コーディネーター） 上智大学文学部教授・中世思想研究所所員

宮本久雄 上智大学神学部教授・ドミニコ会司祭

土橋茂樹 中央大学文学部教授

今 義博 山梨大学名誉教授

山崎裕子 文教大学国際学部教授

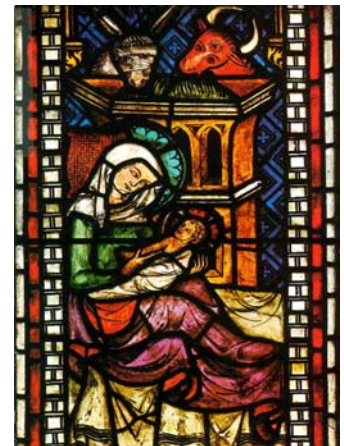
桑原直己 筑波大学人文社会系哲学思想専攻教授

長町裕司 上智大学文学部教授・イエズス会司祭

佐藤直子 上智大学文学部教授・中世思想研究所所長

講義スケジュール・担当者：

1. 4/15 総論：西洋中世キリスト教思想における「美」と「愛」の思想（樋笠）
2. 4/22 聖書における愛の思想（宮本）
3. 5/13 東方キリスト教教父における愛の思想（土橋）
4. 5/20 西方教父とアウグスティヌスにおける愛の思想（樋笠）
5. 5/27 偽ディオニシオス・アレオパギテスにおける愛の思想（今）
6. 6/3 アンセルムスにおける愛の思想（山崎）
7. 6/10 スコラ哲学とトマス・アキナスにおける愛の思想（桑原）
8. 6/17 エックハルトにおける愛の思想（長町）
9. 6/24 クザーヌス及び中世末期における愛の思想（佐藤）



申し込み・問い合わせ先：

上智大学公開学習センター（TEL:03-3238-3552/FAX:03-3238-4310）

受講希望者の方は4月5日を目途にお申込み下さい。

***上智大学中世思想研究所：**

当研究所は、上智大学、東京大学、慶応義塾大学、聖心女子大学、東京都立大学（当時）研究者の合議のもとで、本邦のヨーロッパ中世思想の研究拠点として設立されました（1956年に上智大学文学部哲学科内に「中世思想研究室」として設置され、1976年に「中世思想研究所」として改組）。その後、学内外の協力のもとに、中世関係の学術書出版（『中世思想原典集成』〔平凡社〕など）と、専門書収集（研究者への閲覧・貸出）を主な活動として、現在に至っております。

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1 （中央図書館 8 階） TEL 03-3238-3822 e-mail:imdthght@sophia.ac.jp/

<http://www.info.sophia.ac.jp>